

# 政策分析シート（平成28年度）

<b>政策名</b>	生涯健康で生き生きと生活できるま ちの実現	<b>政策No</b>	01	<b>部名</b>	健康部		
				<b>部長名</b>	倉橋	内線 420	
<b>関連部名</b>	福祉部						
<b>行政評価 事業体系</b>	<b>分野</b>	I 生涯健康都市					
<b>目的</b>	区民一人一人が生涯にわたって、心身ともに健康で生き生きと生活できるような環境を整備する。						
<b>指 標</b>	<b>幸福実感指標名 (5段階評価)</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>		
		25年度	26年度	27年度			
	① 健康実感度	3.33	3.31	3.36	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？		
	② 運動の実施度	3.20	3.25	3.28	体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？		
	③ 健康的な食生活の実感度	3.41	3.29	3.42	健康的な食生活を送ることができていると感じますか？		
	④ 体の休息度	3.30	3.29	3.31	体を休めることができていると感じますか？		
	⑤ 心の安らぎの実感度	3.53	3.53	3.56	心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？		
	⑥ 医療の充実度	3.47	3.38	3.41	お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？		
⑦							
<b>指 標</b>	<b>政策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>					<b>指標に関する説明</b>
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
	① 健康寿命(男性) (歳)	80.25	80.22	-	80.5	81.0	65歳健康寿命(65歳の平均自立期間に65を加算した数値)
	② 健康寿命(女性) (歳)	82.28	82.53	-	82.5	83.1	65歳健康寿命(65歳の平均自立期間に65を加算した数値)
	③ 早世(男性) (3ヶ年平均)	98.67	95.19	95.7	94.0	110.6	40～64歳の標準化死亡比*(100以上は全国より高い)
	④ 早世(女性) (3ヶ年平均)	100.45	91.65	88.0	90.0	91.2	40～64歳の標準化死亡比*(100以上は全国より高い)
	⑤ 健康状態がよいと感じる人の割合 (%)	40.8	40.4	41.9	42.8	42.8	GAH調査
	⑥ 被保険者1人あたり医療費(円)	290,301	291,519	304,829	296,669	-	27年度見込は、26年度*医療費の3ヶ年平均伸び率
⑦ 特定健診受診率 (%)	42.7	43.3	43.6	49.0	51.0	見込み及び目標値は第二期実施計画の目標値	
<b>現状と課題 (指標分析)</b>	<p>○荒川区では、がんや糖尿病・高血圧などの生活習慣病にかかる人が多く、健康寿命や40歳から64歳までの働き盛り世代の死亡（早世）に大きく関わっている。健康寿命や早世指標は改善してきているが、早世の原因の第1位はがん（39.9%）であり、がん対策を推進することが重要である。</p> <p>○インフルエンザ（H1N1）2009は季節性インフルエンザとしての対策に移行した。今後、強毒性の新型インフルエンザを想定した健康危機管理体制の整備の充実を図る必要がある。</p> <p>○急激な高齢化や医療の高度化に伴い医療費が増大する中、荒川区が保険者として適正に国民健康保険制度を運営するとともに、生活習慣病とその予備群の減少に向け、引き続き特定健康診査・特定保健指導を着実かつ効果的に実施していく必要がある。</p>						
<b>今後の方向性</b>	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>○健康増進計画（平成24～28年度）の重点目標である「健康寿命の延伸」や「早世減少」を目指すために、「糖尿病対策」と「がん対策」を強化するとともに、6つの分野（減塩と食生活改善・運動と身体活動・禁煙と受動喫煙防止・アルコール・こころの健康づくり・歯と口の健康）の施策を実施し、区民や関係機関・団体と共に健康づくりを支援する環境の整備を進めていく。</p> <p>○強毒性の新型インフルエンザ発生時を想定した対策の整備を進め、関係機関においてより一層の連携を構築するとともに情報の共有化を図っていく。</p> <p>○20年度に開始した特定健診・特定保健指導の実施結果も踏まえながら、当区の生涯健康都市の実現に向けた取り組みをより一層積極的に推進する。</p>						

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	28年度設定	29年度設定	
区民の健康づくりの推進	重点的に推進	重点的に推進	区民の幸せの基盤となる健康を保持、増進することは区の重要課題であり、来るべき本格的な少子・高齢社会に向け、医療費等の社会的コストを適正な水準に保つためにも欠かせない施策であることから、当該施策の優先度は極めて高い。
健康危機管理体制の整備	重点的に推進	重点的に推進	結核や新型インフルエンザ等の感染症予防とまん延防止の対策を講ずること、並びに食中毒等の発生防止による良好な生活環境の維持を図ることは、区民が安心して暮らすために非常に重要である。
地域医療の充実	推進	推進	休日等の診療体制を整備することは、区民の安心と疾病の早期対応につながるため、医師会の協力により充実する必要がある。
健康を支える保険・医療体制の確立	推進	推進	荒川区における国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度を安定的に運営していくための取り組みを行っていく。